

◆令和4年度ふくしま元気トーク（8/30開催）：「福島の中心地にさらなるにぎわいを～駅前交流・集客拠点施設～」意見対応状況

No.	意見・提案内容	実施区分	担当課コメント	所管部名	担当課名
1	<p>町なかにも小さい子供が遊べる、特にカラフルな遊具があるような、子供の目を引く、そういう遊び施設、親が安心して見守れるような施設があれば、親も繰り出すきっかけになると思います。</p> <p>駅で新幹線を見に来られる親子連れなどは、各列車に二、三十人必ず見ていくような状況があります。帰りは東口に流れて行かない感じがあるので、新幹線見て、じゃ駅前でご飯食べて帰ろうかというような流れ、駅前で遊んで帰れるような流れ、そういった雰囲気をつくればにぎわいと言えるのかなというふうには私には思います。</p>	現在実施中	<p>子ども達やそのご家族などを街なかと呼び込み、新たな賑わいを創出、維持していくため、子どもたちを対象に、懐かしのデパート屋上遊園地を想定したアミューズメント「街なかテーマパーク」11月13日に初開催しました。</p> <p>イベント当日は、子ども達に楽しんでいただくためのロードレインやバッテリーカー、大型遊具のほか、体験型アミューズメントコーナーや多彩なステージショー、飲食ブースなど、若年層をはじめ幅広い年代の方々に楽しんでいただける企画が満載で、4万5千人の来場がありました。</p> <p>今後もこのような取組を継続し、親子連れや若い方が気軽に安心して街なかに訪れていただくことで、新たな賑わいの創出とその維持につなげていきたいと考えています。</p>	商工観光部	商工業振興課
2	<p>工事の様子を市民や特に子供たちや若い世代に積極的に発信する広報プロジェクトを立ち上げてはいかがでしょうか。具体的にはフェンスを透明にしたリ、工事現場に子供たちを招いて見学会を実施したりすることです。</p> <p>【参考：市長コメント】 混雑とにぎわいは違うとか、あとは学生さんにとってみると駅前、通るところだったから、何か別に今までと変わらないという、ある意味新しい視点かなというふうには思います。工事の様子を発信するプロジェクトについては、以前参画した会議の中である程度まとまったんですが、関係者と相談して検討したいと思います。</p>	現在実施中	<p>駅前再開発事業の工事の様子については、施行者である福島駅東口地区市街地再開発組合のホームページにて進捗状況を随時発信しています。</p> <p>また、次世代を担う若者に当再開発事業に興味や関心、関わりを持ってもらい、街の賑わいを創出する原動力になってもらえるように、本市では市内の大学生や高校生と共に、再開発工事期間中の賑わい創出に向けた企画立案に取り組んでいます。</p> <p>現場見学会については、再開発組合と工事施工者により、建物解体の進捗や実際に現場で使用する建設機器に触れる等の子供たちがワクワクする見学会の実施に向け、検討・調整を行っています。</p>	都市政策部	市街地整備課
3	<p>課題としては、回遊性向上の仕組みづくりが重要なんだろうなと思っています。行ってみたいと思う場所をつくって、磁石のような場所をつくって、そこに人を集めることが重要なんだろうな。それが市内あちこちにできれば、人がそこに行って、お金を落としていただくような形になったらいいんじゃないかなと思っています。そのためにも、福島市さんのほうで今やっつけていらっしゃる周遊スポット魅力アップ支援事業や町なか再生リノベーション事業等は非常に有用だと思っていますので、事業者の皆さんにも活用を促して行きたいと思っています。</p>	現在実施中	<p>周遊スポット魅力アップ支援事業 事業者による新たな魅力づくり・顧客満足度向上の取組に対し、ハード・ソフト両面で支援を行った。 中心部を含む周遊先の改修・整備やサービス開発が進み、高付加価値化が図られた。また、助成においては道の駅くしまオリジナルアプリ「周遊手形 縁(えにし)」の登録を条件とし、市内回遊を促す仕組みとした。</p>	商工観光部	観光交流推進室
		実施済み	<p>【情報発信の取り組み】 6月：福島県宅建協会福島支部・全日本不動産協会福島県本部との意見交換会を開催 7月：市内不動産取扱店や各金融機関へ訪問し、創業支援メニューの紹介</p>		商工業振興課
4	<p>バザール的なものをいろいろあちこちに、もしも空室利用とかできたらいいんじゃないかなとは思っています。チャレンジショップとか、そういうのを休日とかも利用しやすいような仕組みをつくって、新規創業棟や商売を活性化するような仕組みをつくっていただけたらいいんじゃないかなと個人的には思っています。</p>	現在実施中	<p>【街なか賑わいプロジェクト】 本年7月にスタートした「街なか賑わい創出プロジェクト」は、まちづくりに関わる多くの関係者の皆様の参加をいただきながら、多様な力を結集して情報共有と連携を深め、現在46の団体・個人が集まり、官民一体で街なかの賑わいを創出していくため取り組んでいます。</p> <p>プロジェクトの構成団体も、交通事業者や大学、経済団体、企業など多方面に渡ることから、今後もメンバーの活動・イベントの見える化や連携を進め、イベントの集客増や街なか賑わいづくりの一層の活性化を図り、新たな賑わい創出に取り組んでいきます。</p> <p>【空き店舗対策】 ①4月から、空き店舗家賃補助の階層や業種等の要件を市独自に緩和し、制度を拡充しました。 ②6月からは、空き店舗をリノベーションして開業する事業者を支援するため、「街なか再生リノベーション事業」を創設し、さらなる支援の充実を図りました。 ③チェンバおもまち1階で、チャレンジショップを㈱福島まちづくりセンターと共同で運営し、希望する新規開業者に貸し出すとともに、入居者に対して創業に向けた経営指導などを実施し、独立開業に向けた支援を行っています。 ④今後は、各種支援制度を広く周知・広報し、活用いただくよう努めるとともに、民間の不動産投資による魅力ある店舗の確保も進めるなど、新規出店につながる各種取組について庁内関係部署と連携し、研究していきます。</p>	商工観光部	商工業振興課